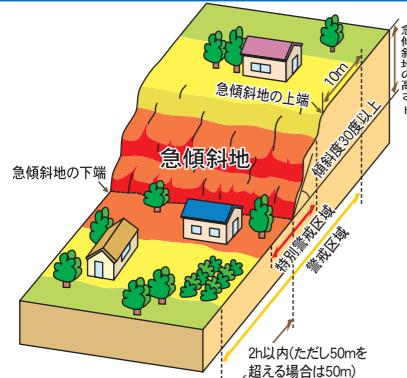


土砂災害に備えよう

土砂災害の種類を知ろう

土砂災害は、最も注意しなければなりません。普段と変わった現象→すぐに避難を！

がけ崩れ



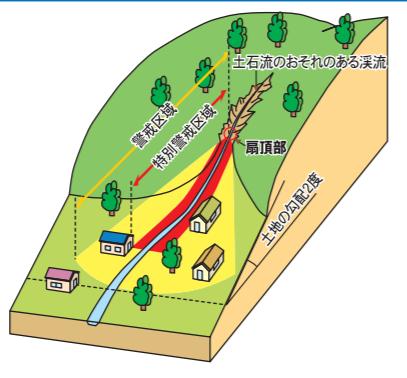
がけ崩れは、急な斜面で突然に起こり、瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。

前ぶれ

- がけから水が湧き出る
- がけから小石がぼろぼろ落下
- 湧水が濁る
- がけに亀裂が発生

がけ崩れ発生

土 石 流



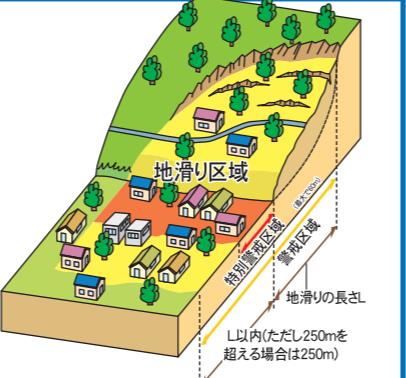
土石流は、谷筋で起きますので、土砂などが水といっしょに流れ下り、スピードが速く大きな破壊力を持っています。

前ぶれ

- 山鳴り・地鳴りがする
- 川の流れが濁り流木発生
- 渓流内の転石の音
- 水位の急激な低下

土石流発生

地 す ベ リ



地すべりは、一度に広い範囲の地盤が動き出しますので、速度はゆるやかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

前ぶれ

- 地面にひび割れ
- 井戸や沢の水がにごる
- 渓流内の転石の音
- がけや斜面から水がふき出す
- 樹木が傾いたり倒れたりする

地すべり発生

深層崩壊とは

近年、注目されている深層崩壊とはどのようなものなのでしょうか。

表層崩壊と深層崩壊

山の斜面が崩れ落ちる斜面崩壊は、山の表面の落葉層や土壤層が崩れ落ちる表層崩壊と、地盤までもが同時に崩れ落ちる深層崩壊に分類されます。深層崩壊は規模が大きく、大規模な土石流や天然ダムなどが生じて、被害が甚大になる傾向があります。



原因と前兆

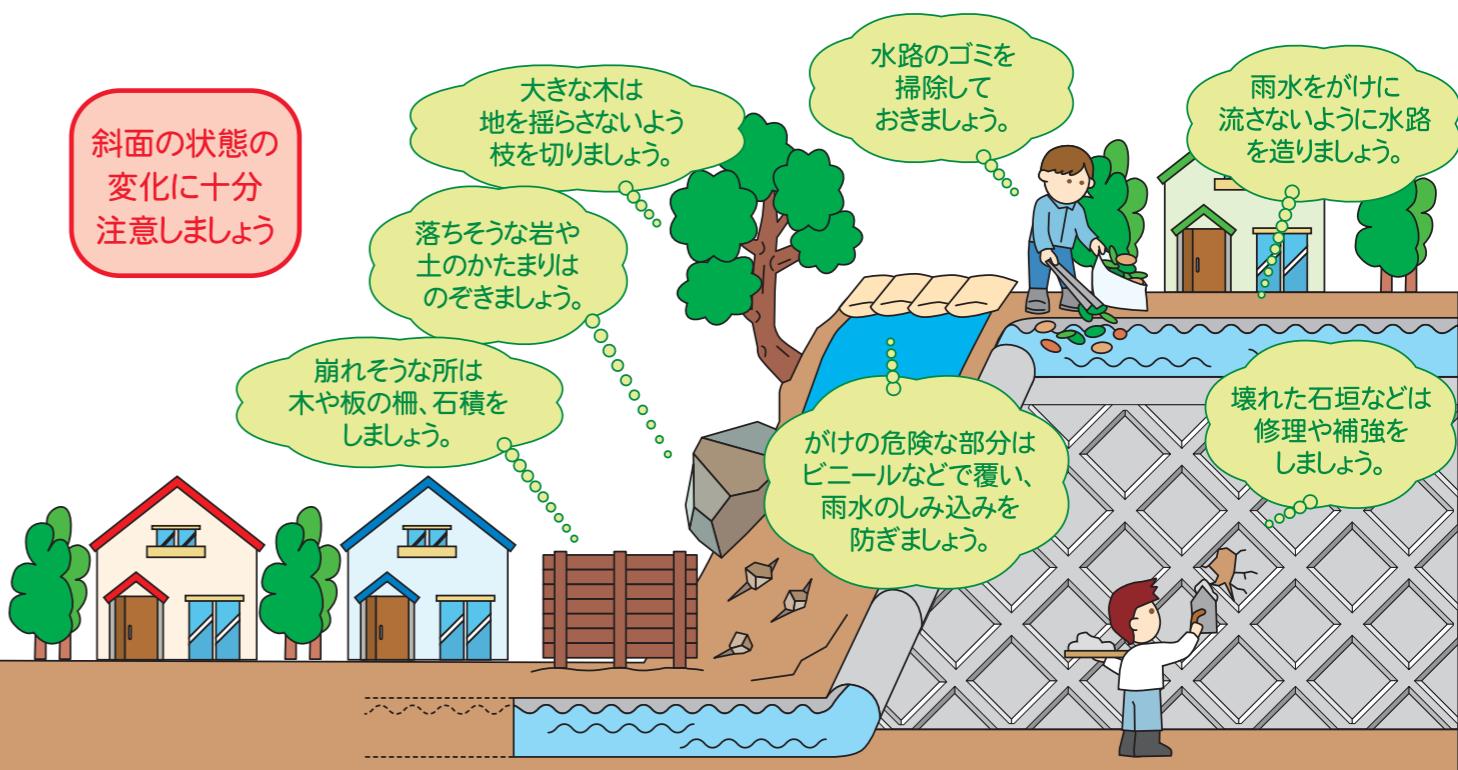
深層崩壊の発生に関わる要因は複雑で、予測は難しいといわれています。原因は豪雨や融雪、地震などですが、集中豪雨や湧き水などが地層の亀裂に溜まり、岩盤を支える力が弱くなり発生するといわれています。温暖化による降水量増加も一つの重要な原因としてあげられます。

深層崩壊は、通常の土砂災害とちがい、大量の雨が降って数日後に土砂災害が発生する場合があります。また河道閉塞(天然ダム)ができた場合は、急激に下流の河川水位が下がることがありますので警戒が必要です。

あなたにもできる土砂災害の予防策

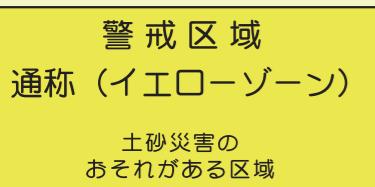
★ 日頃から避難する場所や道路などを確認しておきましょう。

★ 近くにがけのある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。

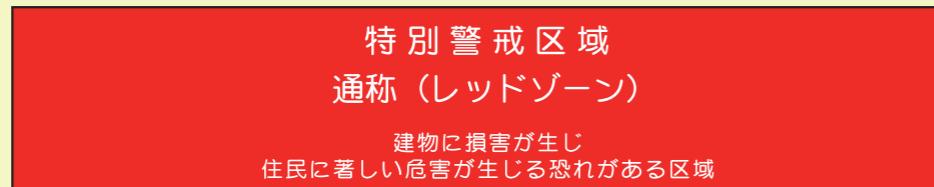


土砂災害防止法の警戒区域・特別警戒区域について

土砂災害の恐れのある区域を「土砂災害警戒区域」と呼びます。その中でも家屋を破壊し、人命に危害の恐れのある区域を「土砂災害特別警戒区域」と呼んで区別しています。これらの区域は、長野県が砂防基礎調査を実施した後、市町村長の意見を聞きながら県知事が指定し、県民のみなさんに公示しています。



危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。



特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

※詳しくは「長野県土砂災害防止法」で検索